取扱説明書

プラモキットⅡ
（**BSKT001**）

スピーカー制作の悩みは、

何と言っても、ボックス制作の難しさ。

かといって、出来合いのボックスでは、

作る楽しみが半減するし、

第一、完成後の所有する喜びが得られない・・・・

プラモ方式の『バーチ・キット』はそんなあなたに

ピッタリなキットです。

- カッターなどの扱いは慎重に
- 木製部品のトゲ・ささくれにはご用心
- ボンド類は良く洗い落としましょう
- ペーパーがけ時は、ささくれに注意
- 塗装する時は、換気を忘れず
- シンナー類の取扱いは火気に注意
- スピーカーの取付け時は慎重に
- 結線は、極性を間違えないように

木工工作経験者の方で有れば、1 時間足らずで完成するかもしれませんが、初心者の方は上記注意書きを良くお読みになって、決して、焦らずにじっくりと取り組みましょう。
本製品は、簡単なキットにはなっていますが、刃物や工具類を扱います。怪我には十分に注意して、楽しい自作工作をお楽しみください。

（1） パーツリスト

最初に、下記の「部品表」でパーツ類が全部揃っているかどうか
確認してください。

部品番号	部品名		内容	数量
1		バーチ合板	12mm バーチ合板	5 枚 1 式
2		2WAY ネットワーク基板	5.5mm 合板 (65mm x 95mm)	2 枚
3		ターミナル	角型ターミナル・カップ	2 セット
4		ポート チューブ	25mm 径 x 100mm	2 セット
5		吸音材	100mm(幅)x300mm(長)	2 セット
6		サンドペーパー	下地用、仕上用	1 セット(2 枚)
7		スピーカー用 ボルト・ナット	片チャンネル (M4x7 本) 鬼目ナット 7 本	2 セット (各 14 本)
8		ターミナル用 木ネジ	M3.5x4 本	2 セット(8 本)
9		六角レンチ	3mm 用、4mm 用	1 セット(2 本)

スピーカーユニット

部品番号	部品名		内容	数量
11		AuraSound 3”	AuraSound 3” 8Ω	2 個
12		Beston RT003C	Beston リボンツィーター 6Ω	2 個

(2) 下準備

作業を開始する前に、最低限必要な道具、工具、部品などを
揃えておいて下さい。

(ア) 工具

大型カッター：これが無ければ、プラモキットは出来ません。出来るだけ、
頑丈そうなものを用意してください。
替刃も合わせて用意しておけば、万全です。

プラス・ドライバー　：これも必須です。（ターミナル取付用）

後は、ラジオペンチなど、必要に応じて揃えてください。

(イ) 部品

接着剤：ボンドと、万能接着剤。
ボンドは出来れば、速乾性のものをご用意ください。「タイトボンド」がお勧めです。また、鬼目ナットの固定に必要な「瞬間接着剤」などの万能接着剤も必要です。

塗料　：初心者の方には、「プラネットカラー」のような「透明ワックス・タイプ」をお勧めします。拭き取るだけなので失敗が有りません。

濡れ雑巾：ボックスの組立時には、常に、水で十分に濡らした清潔な雑巾を用意しておきましょう。
【ヒント】はみ出したボンドなどの接着剤を、こまめに、濡れ雑巾で拭き取ることが、奇麗なボックスを作る秘訣です。

その他に、有れば便利な道具として「ハタガネ」や「電動サンダー」なども、用意しておくと、より奇麗に仕上がって便利かもしれません。「電動サンダー」は、ホームセンターなどで売っている 2 千円程度のものが手に入るなら、買っておいて損はないでしょう。

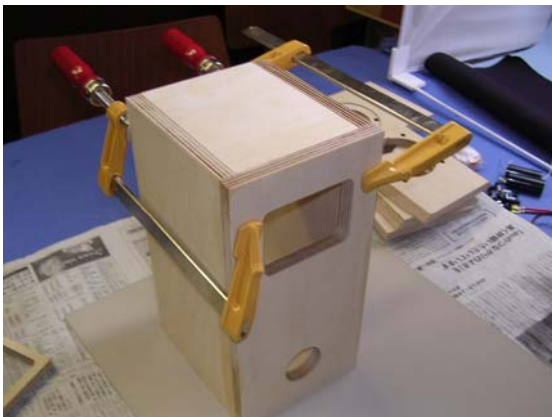
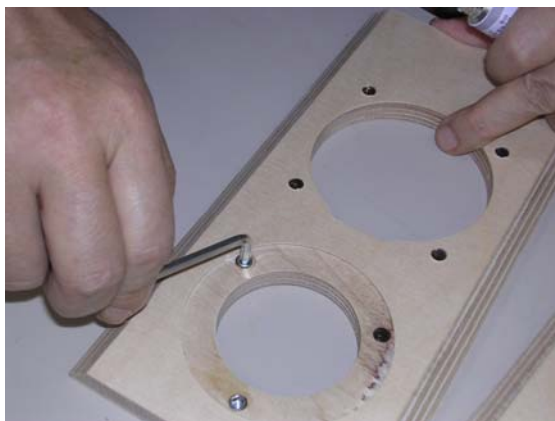
また、仕上げにこだわりたい方は、もっと目の細かいサンドペーパー（300、400 番）などもそろえておきましょう。

(3) 最初に、ボックス構成部品を、木のフレームから、切り取ります。
この時、デスクの上などには、古新聞などを敷いてキズを付けないようにしましょう。
まず、大雑把に部品を切り離します。(フレームと部品を繋いでいる部分の真ん中付近から切り離す方が失敗が少ないでしょう。

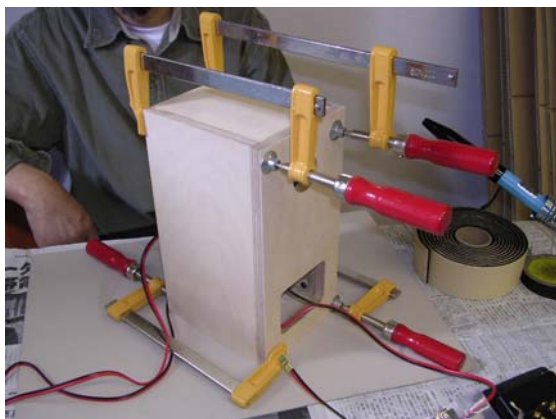
(4) 切り離した部品に残っているバリを慎重に取り去ります。最後に、下地用のサンドペーパーなどで奇麗に仕上げます。

(5) 次に、ボックス部品の側板と天板(もしくは底板)を L 字型に接着しますが、正確な直角を出すために、切り取ったフレームのコーナー部分を利用します。

(6) L字型の部品をそれぞれ、逆向きに接着して長方形の枠を作ります。
この時、デスク上面などの平らな部分を利用して、枠の片方（下部）だけでも
狂いが出ないようにしましょう。
【ヒント】この作業は、L字型の部品が完全に固まらないうちに行い、左右の側板と
天板（底板）がきちんと直角になるように矯正します。

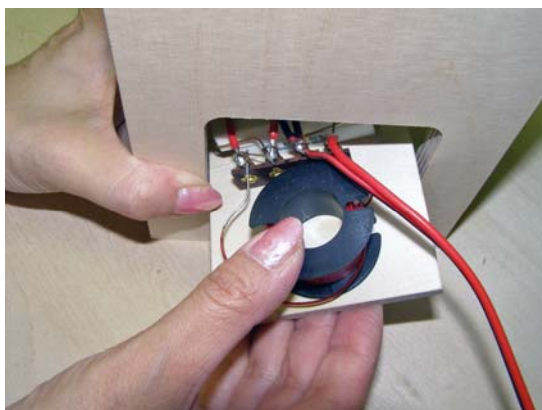
(7) この枠が固まれば、画像下面の平らな方へリアバッフルを取り付けます。
やはり、デスク上の平らな面を利用して、しっかりと押し付けるか、「ハタガネ」を
利用して抑えます。

(8) このまま、しっかりと乾くまで待つことになりますが、その間にフロントパネルに「鬼目ナット」を取り付けましょう。鬼目ナットの取付けには、キットで用意している4mmの「六角レンチ」を使用してねじ込みますが、ナットには少量の瞬間接着剤などを塗っておきます。

(9) いよいよ、フロントバッフルを取付ければ、ボックスは完成しますが、その前にサイドパネル枠の前面部の狂いを、ペーパーがけなどで矯正しておきます。

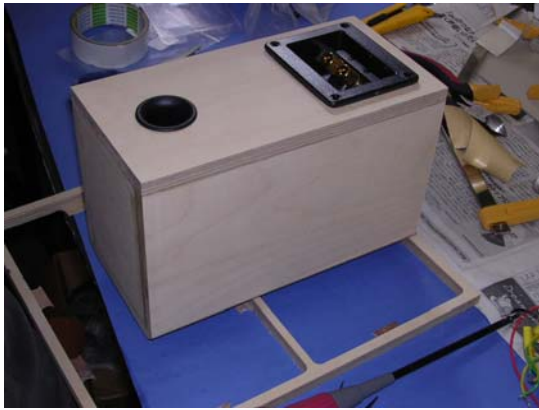
【ヒント】この工程で手を抜くと、バッフル取付部とサイドパネルの間に、隙間などが出来て、完成後の姿がカッコよく決まりません。電動サンダーなどが有ると便利です。

ほぼ組上がったボックス外形。塗装をする方は、この時点でやっておきます。
部品や、スピーカーを取付た後に、塗装するのは大変ですよ。

（10）次に、いよいよネットワーク部品を取付けます。

ネットワーク部品からは、3 組のリード線が出ていますが、赤い線はプラス線を表し、黒い線の入っている方がマイナス線を表しています。

　ウーファー（AuraSound 3 インチ）に繋ぐリード線には「WF」と表記された緑色のテープが巻いてあり、ツィーター（Beston RT003C）に繋ぐ線には「TW」と表記された黄色のテープが巻いてあり、ターミナルに繋ぐ線には、表記が有りません。

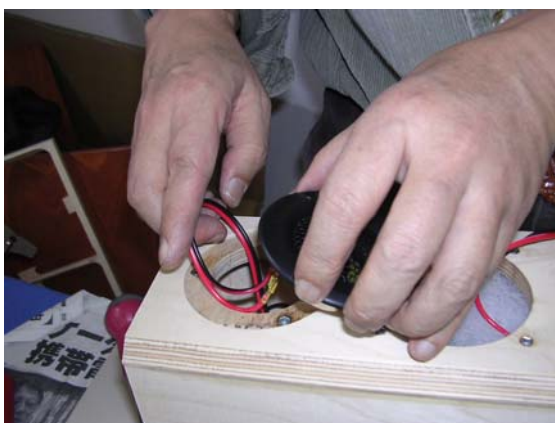
ネットワーク基板裏の両面テープの保護紙を剥がし、ターミナル用のリード線を外側に残した状態で、ボックスの底部に、ネットワーク基板を固定します。

（11）ネットワーク部品からのリード線の極性（プラスとマイナス）を間違えずに、ターミナルへ接続後、ターミナルを、付属の木ねじで取り付けますが、この時、あまり締めすぎないよう注意してください。ついでに、バスレフポートも押し込んでおきます。

【ヒント】ポートとターミナルの位置関係は、基本はターミナルが下方（バインディングポストが斜め上方向を向くように取付ます。）で、ポートが上部になります。左右で間違えないよう注意しましょう。

（12）最後に、フロントバッフルに、スピーカーユニットを取り付けますが、その前に、それぞれのスピーカー・ユニットのリード線を接続しておきます。この時、リード線の端子の大きさと、ツィーターの端子（マイナス端子）の大きさが異なっていますが、特に問題なく接続出来ると思います。万一、抜け易い場合は、ラジオペンチなどで、リード線側の端子を少し曲げてやると抜けにくくなります。

【注意】ファストン端子を曲げる場合は、膨らんだ部分をつぶさないようにして下さい。

スピーカーユニットを取り付ける前に、ボックス内に吸音材を少量でも入れておきましょう。入れ過ぎると低音が出にくくなりますので少量に留めましょう。

また、スピーカーユニットの取付には、キット付属の 3mm の「六角レンチ」を使用します。

【ヒント】スピーカーユニットの取付時は、対角線上のボルトから均等に入れて行きましょう。また、ボルトも締めすぎないように注意してください。
ボルトを締める時は、六角レンチでスピーカーのコーン紙を痛めないよう手で、カバーするようにしましょう。

（13）遂に完成しました。

どうですか、とてもスピーカー自作の初心者が作った出来栄えとは思えないでしょう。45 度にカットした「フィンランドバーチ材」の美しさ、正確に落とし込まれたツィーターや、M4 サイズの「キャップ・スクリュー」を使用することによって、安ものの木ネジでは決して、出てこない「メカニカル」な雰囲気に、きっと満足していただけるものと思います。

音出し時の注意点としては、スピーカーケーブルのプラスとマイナスを間違えないことと、プラスとマイナスを接触させないことです。

【注意】プラスとマイナスが接触したままアンプを入れると、アンプやスピーカーユニット、ネットワーク部品などが壊れる場合も有ります。

なお、以下のホームページで、制作方法が紹介されていますので、参考にしてください。

リンク・アドレス

http://picasaweb.google.co.jp/baysidenet/Plamokit2_

また、ご不明な点は販売店様、もしくは、

メーカーの（有）横浜ベイサイドネットまで、ご質問ください。

【注意事項】

- ☐ 本製品は、天然の木材を加工したものなので、多少の、欠けやササクレなどが見られる場合が有りますが、ご了承願います。
- ☐ 本製品を開封後、スピーカーユニットなどに不具合が有ると思われた場合は、速やかに販売店までご連絡ください。
- ☐ 本製品は予告なくデザイン、キット内容などが変更される場合が有りますのでご了承願います。

『プラモキットII』の仕様

形式：3 インチ（8cm） 2Way スピーカー システム
ネットワーク：2Way（6dB/oct）
ボックス方式：バスレフ方式
ボックス材料：フィンランドバーチ 12mm 材
寸法：13cm（幅）x23.5cm（高さ）x15.5cm（奥行き）
重量：約 1.7kg/個（完成重量）
スピーカーユニット：
【ウーファー】
AuraSound NS3-193-8A
アルミコーン/ネオジウム・マグネット
口径：3 インチ（約 8cm）
インピーダンス：8Ω
耐入力：20W
能率：80dB（1W/1m）
【ツィーター】
Beston RT003C
リボンツィーター/ネオジウム・マグネット
口径：約 8cm
インピーダンス：6Ω
耐入力：15W
能率：93dB（1W/1m）

【商品名】 プラモキット II
【製造・販売】
有限会社横浜ベイサイドネット
〒231-0023
横浜市中区山下町 162-1
横浜飛栄ビル 306 号
（電話） 045-212-3682